



ID: 1340

科目名	専門演習※(前半)【26年度生用】			コード			
英語表記	Graduation Thesis Preparation Preliminary Graduation Practice						
担当教員名	建築システム専攻専任教員			年度	平成26年度		
基準年次	3年次	開講期	通年	単位数	2		
授業形態	演習	授業形式	面前	履修形態	必修		
授業概要							
<p>専門演習は、4年間の専門領域の学習の総仕上げの必修科目である卒業論文指導の準備として、領域の教員による論文と設計の総合的な演習を行う。既往履修の学習科目を概括して卒業計画の課題の選択と学習の方法の概要を習得する予備演習をする。そのため、学生の要望に関して系統的な研究指導を行う。前半には既往の論文の講読や設計のサーベ方法が多賀教授が指導し、後半は各担当教員の支援の下、卒業計画の具体的な準備作業として前半で学んだことを具体的に実践する。</p>							
到達目標							
<p>毎週行われるゼミに出席して各担当教員から研究テーマの選定、問題の設定、問題の解決方法に向けてのガイダンスや指導や助言を受け、課題の関係資料の収集や講読を通じて研究の方法や具体的な技術を学ぶ。</p>							
授業計画							
第1回	専門演習の進め方についてのガイダンス						
第2回	学生の自主的な活動によって学習を行うことを認識する						
第3回	年間の学習計画の概要の計画方法						
第4回	既往の学習結果から関係する既往の論文・作品・設計に関する情報の収集方法						
第5回	関連資料を講読して関心あるテーマの意義と目標の設定方法						
第6回	選定課題の問題の所在、研究の目標、方法の明確化の仕方						
第7回	研究のテーマや方法によっては野外調査や実験など具体的な作業計画の有無の検討方法						
第8回	学習の進展状態や途中経過をゼミで発表し参考意見を受けた場合の推敲方法						
第9回	学習作業の内容を文章として整理し途中評価を受けた場合の検討方法						
第10回	選定課題の全体構成を整理し、更なる内容の改善のための方法						
第11回	学習成果を研究の目標と照らして総合的な構成の検討方法						
第12回	一つの纏まった報告書として作成し口頭説明用の解説と概要のまとめ方						
第13回	半年間の専門演習のレポートの作成						
第14回	半年間の専門演習をレポートとしてまとめ学習成果を発表し評価を受ける						
第15回	自分の関心あるテーマを仮に決定し、領域の教員から選考する						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
<p>以下の各点に関して指導教員を中心とした学科全教員が評価採点する。1.年間の学習報告書としてその経過を十分表現しているか 2.報告書の内容の概要を的確に整理できているか 3.学習内容のプレゼンテーション技術は 要領をえているか</p>			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
			50		20	30	
授業外学習			テキスト、教材				
調査、実験、実習などフィールド							
参考書			受講生へのメッセージ				
<p>学生の選択したテーマに関して各教員は課題の学習を誘導し専門的な立場から助言や支援を行う。</p>			<p>1, 2年次の基礎ゼミⅠ、Ⅱ、ⅢおよびⅣは、専門演習の学習進行上の基本となるのでその学習態度や修得の達成度が研究の進捗に重要であるので十分に留意すること。</p>				
キーワード							
卒業研究・卒業論文・卒業制作・専門演習・課題選定							